



果敢に攻める葛巻中学校の選手（青のユニフォーム）

町長杯サッカーU15 葛巻中が熱いプレー

第9回葛巻町長杯U-15サッカー大会（町サッカー協会主催）は7月8日と9日の2日間、総合運動公園で開催され、葛巻中学校のほか近隣市町村から6チームが参加しました。

選手たちは、強い日差しが照り付けるグラウンドで滝のように汗を流し、倒れながらも相手の攻撃を止めたり、コーナーキックのチャンスにはゴールキーパーも攻撃に加わるなど勝利を目指して熱いプレーを見せていました。競技の結果、長内中学校（久慈市）が初優勝を飾りました。

第1回食文化伝承会 郷土料理作りを学ぶ

盛岡地方農業農村振興協議会主催の第1回食文化伝承会の調理実習が7月11日にくずま〜で開催され、町の郷土料理を学ぼうと20人が参加しました。

阿部光子さん（岩手県食の匠／野中）と佐々木チヨ子さん（茶屋場）が講師を務め、そばがき、飾り巻き寿司、凍みじゃがいももちの作り方を指導。阿部さんは「運動会や誕生日などに作ってもらえると嬉しい」と話していました。参加した皆さんは地域の食文化に理解を深め、真剣な表情で取り組んでいました。



飾り巻き寿司作りの様子

リズムに乗って楽しく 県北ジャズ体操講習会

7月16日、第25回岩手県北ジャズ体操講習会が社会体育館で開催され、本町のほか近隣市町村から約60人が参加しました。

講師は日本ジャズ体操協会の村田佳壽子さん（大阪府）で「スウェーデン発祥のジャズ体操は日本のラジオ体操のようなもの」と気軽に取り組める魅力を伝え、参加者は呼吸法やリズムを意識しながら軽快に体を動かしていました。森川静子さん（二戸市）は「音楽に合わせて苦痛を感じることなく運動できて楽しかった」と笑顔を見せていました。



講師の村田さん（円内）と のびのびと体を動かす皆さん



子どもたちに啓発グッズを配る関係者の皆さん

地域で互いに見守る 保護司らが呼び掛け

6月24日、第40回青少年健全育成ミニサッカー大会が行われた町総合運動公園で、「社会を明るくする運動・人権擁護啓発活動」が行われ、保護司と更生保護女性の会および人権擁護委員の皆さんが活動しました。

委員の皆さんは、親子に「頑張っ」と声を掛けながら啓発グッズを配り、いじめや犯罪のない社会の実現を呼び掛けました。丹内勉さんは「地域で互いに見守り合っているのが本町の良いところで、その地域性をみんなで大切にしていきたい」と話していました。

子どもたちが学ぶ 運動と食事の関係

町スポーツ少年団主催の「KUZUMAKIジュニアアスリートセミナー」は7月1日、社会体育館で開催され、少年団の子どもたちとその保護者など12人が参加しました。

講師は地域おこし協力隊スポーツコーディネーターの八重樫德基さん。管理栄養士でもある八重樫さんは「運動・休養・栄養」のバランスの大切さを説明し、参加者は真剣に耳を傾けていました。伊藤絆莉さん（葛巻小6年）は「ミニバスの練習で疲れた時、睡眠と栄養をちゃんと取ろうと思う」と話していました。



セミナーに参加した子どもたちと講師の八重樫さん（円内）

ビッグブルズの選手 葛巻保の園児と交流

7月3日、プロバスケットボールチーム「岩手ビッグブルズ」の選手が葛巻保育園を訪問し、町内のスポンサー企業から贈られたバスケットゴールを届け、園児と交流しました。

園児たちは、選手の門馬圭二郎さんと石川晴道さんとバスケットボールに挑戦し、シュートが決まるとハイタッチをして喜んでいました。門馬さんは「バスケットボールは5人でやるスポーツなので、みんな仲良く楽しんでください」と話し、石川さんは「ビッグブルズを応援してね」と呼び掛けていました。



園児にシュートを教える石川選手と門馬選手